

スマイル タウン

人が好き **笑顔** がステキな街が好き

2019
11・12
月 第306号

ひの社会教育センターは、市民のみなさまの“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する施設として、1969年に日野市と(財)社会教育協会が協定書に基づいて設立しました。
今月もセンターで生きがいがづくりをされる沢山の市民の方々の活動をお伝えします。



- 「つながり」
 - 「ひと」
 - 教室探訪記
 - 新館タイムズ
 - センターからのご案内
- リーダーの自主活動
 - 五十嵐民夫さん スキーリーダー
 - 成人クラス 文化箏
 - ロビー展示 スタート!
 - 新館長挨拶/イベント情報/モグモグレシビ



『社会教育とは』『学んだことを、次につなげること』
根底にあるそのことを大切に、地域で実を結んできた実践活動の数々を
紹介します。

『自然学校ボランティアから発展した取り組み』

「ひの自然学校」のサマーキャンプやスキーキャンプは年々人気を増し、現在ではほとんどのコースが即日でキャンセル待ちになってしまっただけです。その人気の背景には、大学生から社会人までの様々なボランティアリーダー（通称：リーダー）たちの努力があります。

そんなリーダーたちが「もっと楽しいことを子どもたちに提供したい！」という気持ちで懸命に取り組んでいます。その活動を紹介したいと思います。

「子どもたちのやりたいことを応援したい！」という理念のもと、リーダーとして活躍する明星大学の学生で組織されたボランティアサークル「SEASON」は、主にひの社会教育センターでの野外活動の経験を活かして、学生主体の野外活動を企画・運営しています。



▲昨年の「クライミングチャレンジ」 陣馬山頂上で。

今年で5回目となる「クライミングチャレンジ」では、サマーキャンプに参加してくれた子どもたちを対象に、高尾近隣の山々に出かけるプログラムを実施しています。

「四小まつり」の様子。

▲「四小まつり」の様子。リーダーも楽しそう。

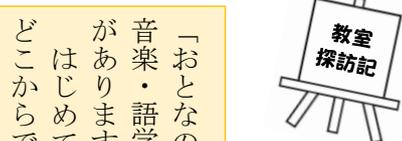


「四小まつり」の様子。リーダーも楽しそう。

最初は子どもとの関わりを求めて、ひの社会教育センター主催事業へボランティア登録をしてくれるリーダーたちですが、日頃の活動の経験や「子どもたちと再会したい！」「また笑顔が見たい！」という想いや情熱が、ひの自然学校の活動にとどまらず、地域へとさらに発展しているのだと感じています。

最初は子どもとの関わりを求めて、ひの社会教育センター主催事業へボランティア登録をしてくれるリーダーたちですが、日頃の活動の経験や「子どもたちと再会したい！」「また笑顔が見たい！」という想いや情熱が、ひの自然学校の活動にとどまらず、地域へとさらに発展しているのだと感じています。

（取材・若泉）



文化箏教室（火曜 10時半〜12時）に
お邪魔して、受講の方にお話をうかがい
ました。

「おとなの学び」プログラムには、文化・アート・音楽・語学・健康・ダンス等、約70種類のクラスがあります。
はじめての方も経験者の方も、いつからでも、どこからでもご参加いただけます。

文化箏とは、通常の琴の半分の大きさで、コンパクトでありながら、琴と同じような音色で調弦もしやすく、様々なジャンルの曲が演奏できるため合奏に向いている楽器です。

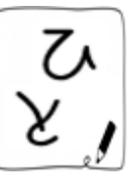
講師の木村稲美（きむらいなみ）先生の指導は、一言で表現するなら「愛ある励まし」。ひととおり演奏を聴き、先生が「ばらばらだねえ」と笑って言うとき、会員さんも「あははは」と笑い合います。

先生の明るさが、受講の皆さんの結びつき力の源だと感じます。



▲講師の木村先生

「文化箏は、初めて楽器をさわる方にもおすすめ。楽譜が読めなくても、音は番号で示されているので、ユツをつかめば『さくらさくら』などは、その場で弾けるようになりますよ。」と先生。
今年も年間を通して大きな発表の機会が2度あり、現在は近く開催される『文化箏フエスティバル』での演目を練習しています。



ひの社会教育センターの「ひの自然学校」のリーダー、五十嵐夫（いがらしたみお）さんにお話を伺いました。

ひの自然学校のスキー指導にボランティアリーダーで参加いただき早10年。28歳から長く、スキー学校の校長先生でもあった五十嵐夫さん（通称がらさん）。プロとして活動されていた方が大学生と一緒に子どもの事業にボランティア参加されている理由や価値などについてお話を伺いました。

—どのような経緯で、ひの社会教育センターと関わることになりましたか？

私が入っていたスキークラブの友人が元館長・島崎成利さんとなりがりがあり、センターの仕事を手伝わないか？と誘われたのがきっかけです。

—かれこれ10年以上、スキー指導をしていただいています。ひの社会教育センターだけに感じる特徴や魅力はありますか？

技術レベルの上手い下手は別として、スキーを純粹に楽しいと思える20代の若いリーダーの存在です。

子ども達に“スキーは怖いものではなく楽しいもの”と思ってもらえるように、常に考えながら指導しているところが魅力ではないでしょうか。またリーダーは子ども達からするとお兄さん・お姉さんの存在で信頼関係を作りやすい、ここが大きな特徴です。



▶子どもたちとゲレンデで。

—五十嵐さんは、研修会でリーダーへの指導も担当いただいています。長く続けるにあたってのモチベーションなどはどこにありますか？

まず、リーダー達が真面目で、教えるこちらにも勉強になります。私は子どもと接する時間が短いので、私自身気が付かないことも多くて、そこ

をリーダー達から気付かせてもらっています。“スキーがうまくなることをもつと単純明快にしたい” “スキーというスポーツそのもののおもしろさ”この2点をこれからも伝えていきたいです。

—今後のさらなる展望や活動などは？

今は病気をしていると思う様に動けないこともありすが、今後必要とされる限りスキーの仕事を続けていきたいです。またキャンプや山登りなどもしたいですね。そして今、喫緊で取り組まねばと思っているのが環境問題についてです。温暖化が進み年々雪が減少しています。まだ日本に雪があるからいいやと安穩としている場合ではなくなってきたいます。富士見高原（日帰りスキーや一泊スキーで利用している人工降雪機のスキー場）でスキーが出来理由を伝えていく活動なども入れていきたいと思案しています。子ども達にスキーという楽しいアクティビティを未来に伝えていくためにこれからも声をあげていきたいです。

スキーのプロの五十嵐さんでも、大学生や子どもから「学ぶ」とがあるこの感覚はとても勉強になります。スキーの楽しさもさることながら、そこから広がる「自然との付き合い方」にもとても共感できます。ひの自然学校のスキーキャンプが益々面白くなりそうです。

（取材・井上）



▲宿泊の部屋で。子どもたちとお菓子交換😊

◀ 箏の音色は独特で、一音一音、指の動かし方や弾き方で、音の深みが変わります。また、一人一人から奏でられた音が重なり合奏になることで、さらに深みが増します。

会員さんに一言インタビュー

退職を機会に、今まで出来なかつたことに挑戦しようと思ひ、「日本の楽器」に興味をわき、文化箏を選んだ奥野さん。先生の丁寧なアドバイスのおかげで続けていますとのこと。



▶手元を見ると繊細な動き。
④奥野さん ⑤手前・川瀬さん 奥・上野さん

川瀬さんは、以前、お母様が入院されていた際、病院にボランティアの方が来訪し、琴や歌を披露してくれたことが印象に残っていました。その病院が移転した先が、現在の当センターのお隣にある『多摩平の森の病院』。

今回、川瀬さんが、病院の方へお声掛けしてください、文化箏クラスの皆さんによるボランティア演奏が実現しました。デイサービス利用者の皆さんの前で演奏を披露し、とても好評だったそうです。今後も続けていきたいというお話をしてくださいました。（取材・野口）

ひの社会教育センター50周年記念

グランドピアノで聴く SIO

“秋”のアコースティックコンサート

日程：2019年11月30日(土)
 時間：開場13:00/開演13:30
 /終演15:00

料金：3,000円
 出演：SIO (サポート pf 山岡恭子)

会場：多摩平の森コミュニティホール
 TreeHALL 日野市多摩平 3-1-1

ひの社会教育センターでも、チケット販売中!

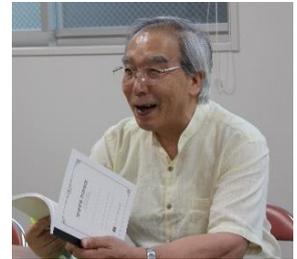
シンガーソングライター SIO は、ひの社会教育センターで参加者、リーダーとして活躍し、また現在もミュージシャンとして関わり続けてい++



日野社会教育センター 館長就任のご挨拶

入手喬新館長

このたび島崎成利前館長の後任を拝受いたしました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



▲入手喬新館長

日野社会教育センターの来し方を振り返ると、困難な運営の中で実に多くの事業を生み出して実践してまいりました。これは職員の日々の努力と利用者様や関係各位のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。引き続き皆様の「役に立つセンター」「地域の活動拠点」として精一杯尽力する所存です。今後とも一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



日野社会教育センターが市より受託運営している、百草の子育て支援カフェ『モグモグ』の大人気レシピをご紹介します! ご家庭でもチャレンジしてみてください

第3回 メニュー紹介!

ハロウィンにも 冬至にも

『かぼちゃのコロッケ』

秋から冬にかけて食べごろになるかぼちゃは、口当たりも柔らかいので、高齢者にも、子どもにも食べやすく喜ばれること、まちがいない!!モグモグのハロウィンメニューとしても定番で、毎年好評です!

つくりかた

- ①かぼちゃは種を取り皮をむき、ざく切りにする
(ざく切りにしてから、まな板の上で皮を削るようにすると楽です)
- ②かぼちゃは茹でてやわらかくする。(電子レンジでも可)
- ③玉ねぎはみじん切りにして肉と一緒に炒める
- ④つぶしたかぼちゃと③を混ぜて塩コショウで味をととのえる
- ⑤④を12等分にして、カボチャ型に丸める
- ⑥小麦粉、とき卵、パン粉をつけて、180度に熱しておいた油できつね色になるまで揚げる
- ⑦茹でておいたアスパラガスを切って、かぼちゃのコロッケの中央にさして茎のようになる **♡かぼちゃっぽく見せるのがポイント**
- ⑧かぼちゃコロッケ3個に千切りのキャベツ、切ったミニトマトを添えて盛り付ける
お好みで、ソース、ケチャップを添える

★できあがり★

増税後も値上げしていません!!

材料	かぼちゃのコロッケ 12個(4人分)
・かぼちゃ	1/4カット(中) 2個
・ひき肉(牛豚)	100g
・玉ねぎ(中)	1個
・塩コショウ	少々
・小麦粉	適量
・卵	2個
・パン粉	適量
・サラダ油	適量
・揚げ油	適量
・キャベツの千切り	適量
・ミニトマト	8個
・アスパラガス	3本



『モグモグ』では日替わりランチ¥550、こどもランチ¥150で提供しています。コーヒーなどのドリンクも¥100~¥130と、とってもリーズナブル!

新館タイムズ

ロビー展示 スタートしました!

新館のロビーにおいて、作品展示が始まりました。絵画や写真、書、手作り作品などを無料で展示していただけます。当センターの講座『子ども習字・金曜』のお子さんたちの力

強い書を皮切りに、各講座の講師の皆さんによる作品展示が始まります。ぜひ、お立ち寄りください。

今後の予定

◎10月15日~11月4日

講師作品展示

◎11月6日~11月30日

『若杉禎宏パステル画遊びの記憶展』(土曜あーとスペース会員)



新館建設寄付者ご芳名

8/1~9/30 ご寄付いただいた方

匿名 1件

現在の募金総額 9/30 現在
 400名+募金箱

¥24,400,197-

たくさんの募金をありがとうございます。



賛助会へのご協力 ありがとうございます

★順不同・敬称略 8/1~9/30

- ①個人会員 1口 1,000円
 大久保康裕 10口 花柳亞紗穂 3口 藤田留美 1口
 奥村香世美 5口 田村省三 1口 遠藤洋子 3口
 山田チエ子 10口
- ②団体会員 1口 5,000円
 学校法人東京薬科大学 2口
 南観光交通(株) 2口 矢千代会 4口

スマイルタウン発行:(公財)社会教育協会日野社会教育センター
 〒191-0062 東京都日野市多摩平 3-1-13 電話 042-582-3136

発行責任者:館長 入手喬
 FAX 042-581-0647